

獅子の見た夢

戦禍に生きた演劇人たち

原作 堀川恵子「戦禍に生きた演劇人たち」(講談社文庫より)

脚本 シライケイタ 演出 松本祐子

美術 石井強司 照明 中島俊嗣 音響 山北史郎 衣裳 有島由生

お神楽指導 おかめ会・社中 舞台監督 相川聡 制作 横川功

戦争一色のなか、自由を奪われ、検束の危険を冒しながら、それでも芝居をやり続けようとした新劇人たち。

劇作家・三好十郎、俳優・丸山定夫、演出家・八田元夫らが炎のように向かった先は……。

1945年(昭和20年)8月下旬、

八田元夫は世田谷・赤堤の三好十郎宅に

広島からやつとの思いでたどり着いた。

大事に抱えてきた風呂敷包みの中には丸山定夫の骨壺があった。

あの惨劇からまだ三週間もたっていない。

挨拶もそこそこに骨壺を前に、

二人は言葉少なに稀代の名優を偲び、まずい酒を酌み交わす。

突如男の聲が割って入ってくると、

時は前年(昭和19年)の秋にさかのぼる。

丸山定夫はしきりに八田元夫を「苦楽座」の演出家として、

一緒に芝居をやるうと土下座までして説得をする。

しかし数年前検挙投獄されて以来、演出家登録は取り消されていて、

鑑札が無ければ演劇活動は出来ないのだ。

それでも丸山は諦めない……。

一方、戦局がますます厳しくなるなか、

苦楽座も大政翼賛会・日本移動演劇連盟に参加しない限り

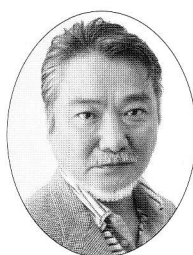
芝居を続けられない状況に追い込まれていた。

せっかく創りあげてきた芝居もこのままでは上演出来ない……。

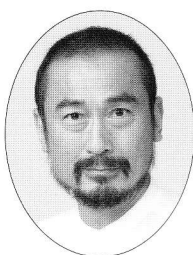
「僕は芝居がしたい、芝居がしたいんです」

「それしかお芝居やれる手段がないんですよね?」

やがて皆の心は一つとなって、広島へと向かうのだった……。



豊泉由樹緒



能登剛



南保大樹



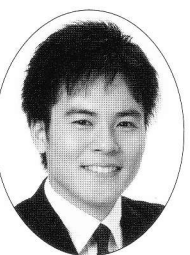
奥山浩



星野真広



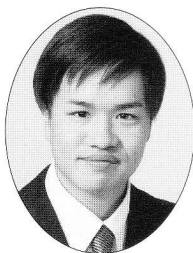
清川翔三



木野雄大



椎名啓介



藤牧健太郎



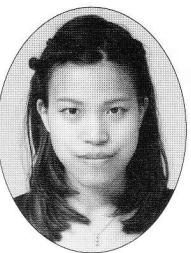
古田美奈子



大川綾香



中花子



三森伸子



瀬戸さおり

(ワタナベエンターテインメント)

●料金：一般4,500円／シニア[65才以上の方]4,000円／U25[25才以下の方]2,500円

●+1 チケット13,500円(3名様グループにプラス1名様ご招待)《全自由席》

●前売り開始：10月7日(月) ※+1 チケット、U25チケットは劇団でのみ発売

●チケット：◎劇団東演 03(3419)2871

◎東演チケットセンター[オンライン購入]→<http://www.t-toen.com>より、又は「東演CNプレイガイド」で検索

◎ローソンチケット 0570(084)0003(Lコード:35605)【演劇専用】0570(000)407(10:00~20:00)

●先行特割発売(東演CNプレイガイドのみ)：9月15日(日)~10月6日(日) 4,500円→3,800円

《入場時の混雑を避けるために当日入場整理券を配布いたします》

●お問合せ：劇団東演 TEL 03(3419)2871 FAX 03(3414)4753

<http://www.t-toen.com> E-mail info@t-toen.com 〒155-0033 東京都世田谷区代田 1-30-13

■芹沢銑介画 提供・協力：芹澤恵子/日本新築株式会社/東北福祉大学 芹沢銑介美術工芸館 ■宣伝美術：早川さよ子[栗八商店]

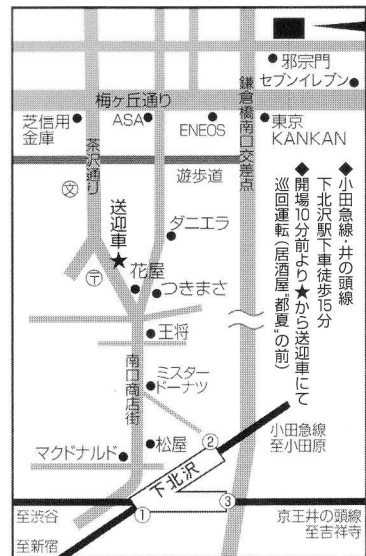
2019年11月16日(土)ー28日(木) ★24日 アフタートークあり

2019年11月	16日 土	17日 日	18日 月	19日 火	20日 水	21日 木	22日 金	23日 土	24日 日	25日 月	26日 火	27日 水	28日 木
14:00		●	●		●				★	●	●		●
15:00								●				●	
19:00	●			●		●	●				●	●	

東演パラータ

下北沢駅より徒歩15分 ★送迎車あり(開演40分前より)

※小田急線と井の頭線は通り抜けが出来なくなりました。ご注意ください。



東演パラータ

●下北沢駅は大改修で出口が変わりました。

- ①東口(小田急)、中央口(井の頭)
- ②南西口(小田急) ③西口(井の頭)